



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年7月19日(水)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

7

「感謝は人の心を大きく、美しく、強くする。」(古市忠夫)

プロゴルファーの古市忠夫(ふるいち・ただお)さん、という方がおられます。神戸市出身、兵庫県立星陵高校から大学へ、その後、地元長田区でカメラ店を経営、30歳頃からゴルフを始めたそうです。54歳で阪神淡路大震災によって自宅・店舗は全焼してしまいました。震災発生3週間後、離れた場所に駐めていた車が焼けずに残っているのを発見。トランクを空けると、そこには愛用のゴルフ道具一式が無傷で残っていたそうです。震災で家や店舗を失った古市さんにとって、唯一残された家財道具が、ゴルフバッグだったのです。「体中に電気が走ったような衝撃を覚えた」「おまえはこれからゴルフで生きてゆきなさいと言われた気がした」と、後に語っておられます。そこからたいへんな努力をした結果、あと数日で60歳という、ゴルフの世界では異例の高齢で、見事プロテストに合格なさいました。当時「還暦ルーキー」と呼ばれたそうです。

標題の「感謝は人の心を大きく、美しく、強くする」は、この古市忠夫さんが語った言葉です。

才能(個性) × 努力 × 感謝力 = 奇跡

大切なことは、これが「掛け算」であるということ。個性がゼロなどということはないと思います。皆それぞれに素晴らしい個性を持っています。しかし、努力をしなかったり、努力はするけれども感謝の心が足りなかったりすると、成果は得られません。どうか、自分にしかできない努力を、誰にもまけない感謝の心を、しっかり育ててほしい。「まだまだ努力が足りないな、よし、がんばろう!!」「いつもありがとう」、こういった気持ちを、ぜひ言葉にも表しながら日々の生活を送りましょう。